期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	2,138,231,272	①　期間進行基準を採用した業務：上記業務達成基準を適用した業務以外の全ての業務 ②　当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額等：2,781,568,743（人件費：1,502,304,371、博物館業務経費：1,105,151,986、博物館管理経費：174,112,386） イ）自己収入に係る収益計上額：681,384,137 （入場料収入：435,625,857、財産賃貸貸付料：61,124,365、教育普及事業収入：3,133,722、雑収入他：181,500,193） ウ）固定資産の取得額：21,540,728 （建物附属設備：10,696,350、工具器具備品：3,712,800、標本：7,131,578） ③　運営費交付金の振替額の積算根拠 期間が経過したので、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	14,409,150	
	資本剰余金	7,131,578	
	計	2,159,772,000	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（費用進行基準を採用した業務はない）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
合計		3,167,370,000	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	217,673,000	○最新の研究成果を反映させるべく、シアター36○のコンテンツ開発に時間がかかり、年度内に完了しなかったことなど、一部の事業において、年度内に執行することが困難であったことに伴い、翌事業年度に繰り越したもの。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において収益化する予定である。

⑰　運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

17－1　施設費の明細

（単位：円）

区分	当期交付額	左の会計処理の内訳				摘要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	施設費収益	その他	
施設整備費補助金（筑波地区研究棟増築等工事）	2,663,774,092	0	2,619,560,990	44,213,102	0	
施設整備費補助金（筑波地区温室改修等工事）	391,882,285	0	152,828,130	239,054,155	0	
施設整備費補助金（筑波地区新・旧資料庫改修等工事）	6,594,840	4,200,000	0	2,394,840	0	
合計	3,062,251,217	4,200,000	2,772,389,120	285,662,097	0	

㈱　損益計算書上の施設費収益との差額は、過年度に計上した建設仮勘定を費用に振替えた額（5,450,445円）に相当する。